

窓

- 目標に向けてねばり強く取り組み、学ぶ価値を実感できる
- 基礎的な知識や技能を身につけ、調整力を発揮して活用できる
- 見通しを持って学び、考えを伝え合うことができる

幸せのバケツ

No. 5 2022. 4. 23

先日、教職員の資質向上を図る校内研修を行いました。研修内容は、

- ICT を活用した授業改善
- 個別の指導計画について
- 学年経営について
- 生徒理解のための交流
- 小中一貫教育 など、盛りだくさんの研修会となりました。

研修の内容については、後日、お知らせしたいと思います。

その研修の中で、学級の取組とし「幸せのバケツ」の事例紹介がありました。

仲間の良いところを見て「温かい言葉」を書き、学級の後方に掛けてあるバケツに入れる活動です。

このような活動は、人として互いを尊重し合う態度が養われ自己存在感（自己有用感、自己肯定感）が高まり、豊かな集団生活につながります。

中学校生活の基盤となる学級が支持的風土にあふれ、互いを認め尊重できる集団であることが、子どもたちの健やかな成長につながります。



心温まる学級づくりの事例の紹介でした。

